

■令和7年度第2回音更町総合計画審議会（令和7年5月27日（火）開催）及び審議会後に出された意見等への対応調書

No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	審議会で出された意見  審議会の運営について	複数	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料が膨大な量であり、資料の提供方法を紙媒体ではなく、電子データでの共有にした方が作業が効率化され、紙の削減にもつながると思う。</li> <li>資料の文字が小さく、不明瞭な部分があった。タブレット端末やPCを使用した会議方法だと文字を拡大しながら資料を見ることができる。</li> <li>事前に資料をいただいても膨大な量の全てに目を通すことは難しい。せめて各章の前に目次があると、どんな分野に関する資料なのかわかるので、自分が気になる分野の確認もしやすい。</li> </ul>	<p>事前資料の配付方法については、個々の要望に応じた対応を取らせていただきたい。</p> <p>⇒審議会終了後、各委員へ事前資料や審議会当日、自身のタブレット端末、PCの持参が可能かどうかなどの意向確認を行い、その結果を踏まえた対応を第3回審議会から取らせていただいた。</p> <p>⇒章ごとの目次を作成、また、電子データで閲覧した場合は目次に記載されている各分野の文字を選択することで、該当するページにリンクする仕組みを新たに設けさせていただいた。</p> <p>引き続き、見やすく、わかりやすい資料の作成に努めていく。</p>	企画課
2	審議会後に出された意見  帯広畜産大学との連携について	清水委員	<p>目指す方向に「音更高校、帯広大谷短期大学、小樽商科大学」との連携した取組が記載されているが、地元にある国内唯一の畜産系単科大学である帯広畜産大学との連携を目指すという方向性の素案は。</p> <p>帯広畜産大学との包括連携協定が結ばれていない現状では、今回の総合計画の見直しの中に盛り込むことはできないのかもしれないが、音更町は、畑作4品やニンジン、ブロックリーなど、畑作物の一大生産地であり、帯広畜産大学と連携することで、地域産業の発展や未来に向けたまちづくりにつなげていくことが期待できると思う。</p>	<p>現在、町と帯広畜産大学とで連携している取組はないが、当該大学は小樽商科大学、北見工業大学とともに国立大学機構の1つであり、国内唯一の畜産系単科大学である帯広畜産大学との連携についても、今後検討していきたい。</p> <p>⇒今後の帯広畜産大学や他の高等教育機関等との連携の可能性を踏まえ、<u>別紙のとおり第3章 分野3「高校教育、高等教育」の「目指す方向」部分の記載内容を修正する。</u></p> <p>(修正前) 「音更高校、帯広大谷短期大学、小樽商科大学と連携し・・・」 (修正後) 「音更高校、帯広大谷短期大学、小樽商科大学などと連携し・・・」</p>	企画課

分野別基本計画調書

修正なし

章(基本目標)		第3章		生きる力、支える力を育むまち																
分野		3		高校教育、高等教育																
担当部署		教育総務課、生涯学習課、企画課、まちづくり推進課																		
●対応するSDGsの目標番号 ●地域福祉計画との包含状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	地域福祉		
	○			○				○										○		
現状と課題		<p>①本町にある北海道音更高等学校(以下「音更高校」)は、これまでも地域を担う人材を輩出し、町と連携した生涯学習プログラムの推進や地域社会と連携した教育、地域活性化に寄与する活動を展開しています。</p> <p>②少子化の影響により2015(平成27)年度から昼間定時制農業科の募集を停止し、普通科単位制へ移行するなど、特色ある教育課程の編成に取り組んでいますが、入学希望者数は減少傾向にあります。</p> <p>③帯広大谷短期大学は、1988(昭和63)年に本町に移転して以来、時代のニーズに応じた教育課程を編成し、地域の求める人材を養成するとともに、町と連携した生涯学習プログラムの推進などに取り組んでいます。また、2010(平成22)年には本町と包括連携協定を締結し、まちづくりにおける重要なパートナーとして、各種計画の策定や調査福祉事業などを協働で実施しています。</p> <p>④大学は、地域の知の拠点であり、教育、研究、地域貢献を3つの柱とし、学習機会の提供、人材育成のほか、地域の産業や文化の振興などに重要な役割を担っていますが、少子化に伴う学生数の減少が課題となっています。</p> <p>⑤国内唯一の国立商科系単科大学である小樽商科大学と2022(令和4)年に包括連携協定を締結し、様々な分野で相互に協力しながらまちづくりを進めています。</p>																		
		現状と課題・変更理由等																		
		番号	変更内容		変更理由												その他			
		①																		
		②																		
③	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	包括連携協定に基づき、帯広大谷短大と連携して在宅高齢者電話サービス事業などを実施していることによる修正																	
④																				
新	追加	新規事業	小樽商科大学との連携について追記																	
目指す方向		<p>①本町唯一の高校である音更高校の魅力向上と地域に根ざした特色ある高校づくりを支援します。</p> <p>②帯広大谷短期大学の時代のニーズにあった魅力化への取組を支援します。</p> <p>③音更高校、帯広大谷短期大学、小樽商科大学などと連携し、それぞれの特色を生かして地域社会に学習の機会と交流の場を提供するとともに、地域、企業、団体などと一体となった人づくり・まちづくりなどの新しい枠組みを検討し進めます。</p>																		
		目指す方向・変更理由等																		
		番号	変更内容		変更理由												その他			
		①																		
		②																		
③	修正	新規事業	小樽商科大学との連携を踏まえた修正																	
施策		施策名															総合戦略			
		施策・変更理由等																		
		番号	変更内容		変更理由												その他			
(1)	高校教育の継続に向けた支援																			
(2)	高校教育、高等教育の充実																			
関連する個別計画		●音更町生涯学習推進基本構想 ●音更町社会教育中期計画 ●音更町生涯学習推進中期計画															関連する個別計画 変更理由			
																	(例1)計画名に変更があったため (例2)新しく計画策定になったため			

施策別基本計画調書

章(基本目標)	第3章	生きる力、支える力を育むまち									
分野	3	高校教育、高等教育									
施策 / 施策の内容(詳細事項)					施策 / 施策の内容(詳細事項)・変更理由等						
(1)高校教育の継続に向けた支援					番号	変更内容	変更理由			その他	
①	経済的な理由によって修学が困難な高校生を支援するため、町の奨学金制度を継続します。				①						
②	地域活力の向上及び特色ある高校づくりのため、音更高校との連携を強化し、入学希望者増につながる取組を支援します。				②						
(2)高校教育、高等教育の充実											
①	音更高校の魅力向上を図る取組を支援します。				①						
②	音更高校、帯広大谷短期大学、小樽商科大学、地域、団体、企業などが連携した「人づくり・まちづくり」などの新しい取組を検討し進めます。				②	修正	新規事業	小樽商科大学との連携を踏まえた修正			
③	帯広大谷短期大学との協働によるまちづくりを推進するほか、同短大の学生募集や機能強化などの取組を支援します。				③						
④	帯広畜産大学、北海道立農業大学校の機能強化・充実を関係機関へ要請します。				④						
⑤	地域に開かれた高校や大学を目指し、町民を対象とした各種開放講座などの開催を協働で進めます。				⑤						
⑥	本町の教育力向上のため、音更高校と帯広大谷短期大学との教育連携を進め、地域の知の拠点となるよう支援します。				⑥						
目標指標					目標指標・変更理由等						
					番号	変更内容	変更理由			その他	R12【目標数値の積算根拠】
(1)	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	(1)					
	音更高等学校の募集間口数	「公立高等学校配置計画」における音更高校の募集学級数	4間口	R1	3間口	R6	3間口	R12			
(2)	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	(2)					
	共同・連携生涯学習講座の開催数	本町と帯広大谷短期大学、音更高校との共催による生涯学習プログラム(OOJCオープンカレッジ、高校開放講座)などの延べ開催数	35回	R1	38回	R6	40回	R12			